

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリブキッズせんかわ（重症心身障害児）			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 2日		～	2024年 9月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2024年 9月 2日		～	2024年 9月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者としてしっかりと連絡を取り合いつながりを深く持っていることで、日頃の様子の共通理解や相談体制が整っていること。	メッセージツールや新システムを導入・活用していることでいつでも連絡をとれる体制を作っていることや、定期的な面談で保護者と顔を合わせることで、送迎時にお会いして実際に保護者と指導員で会話の機会を持つことで信頼関係を築くことを心掛けている。	新システムのより効果的な活用方法を検討し、保護者が使いやすく安心してご利用いただけるようにする。
2	個別支援計画に基づいた支援が行われており、日々の活動が固定化されないよう様々な取り組みを行っていること。	それぞれの特性や活動に合わせて個別性の高い支援を提供できるよう、多職種で連携しながら支援内容を工夫している。また、医療的ケアの必要な児童も遠足へ参加できるよう看護師同伴の体制を整えて開催している。	職員で連携し意見を出し合いながらより個別性の高い支援を行えるよう日々検討していく。また、今後も様々な活動の機会を設けいろいろな経験を積めるよう企画していく。
3	子どもたちが安心感を持って楽しく通所しており、事業所の支援に満足していること。	子どもたちが普段経験できないことを沢山できるよう様々なイベントやレクを企画し放課後の時間を楽しめるよう工夫している。また、職員同士が明るい雰囲気支援に携わることで信頼でき安心感を持って過ごすことができるよう心掛けている。	子どもたちや保護者からの要望を取り入れる機会を増やし、より満足度が高く充実した時間を過ごせるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事や訓練、地域交流の情報など、様々な事柄の発信能力が低い。	特定日に開催のイベントについては、利用契約日ではないことから参加が難しい児童がいる。また、今回の自己評価は新たにシステムを導入したことから、以前と方式が変わり回収率が低下してしまったと考えられる。	事業所SNSを開発しているため、運用を本格的に行っていく。また、新システム導入によって保護者全体へ活動記録を発信することができるため、今後積極的に活用することで事業所の取り組みを知っていただけるようにする。
2	保護者同士の連携の場の実現にむけた取り組み。	両親ともに働いているご家庭が多く、保護者会を実施するのは困難な状況である。また、イベント開催時に該当のイベントに参加する保護者対象にボランティアを兼ねて子どもの様子を見られる機会を設けたが、希望者がいなかったことから保護者間の交流を実現できなかった。 保護者によっては連携を必要としない家庭もある。	今後もイベント開催時等で保護者交流のタイミングを設けていき、子どもを交えて参加しやすい雰囲気を作っていく。
3	バリアフリー化や今後の子どもたちの自立度に合わせた施設の安全対策の充実化。	今後年齢が上がるにつれ自立度も向上し、1人で危険な行動をしてしまったり職員の目の届かないところへ行こうとしてしまう児童を想定した環境作り、また大きな車いすを置くスペースの確保の検討を進めていくことが課題である。	安全対策を必要に応じて講じたり、職員間で一人一人の自立度を共有して想定される危険な行動を未然に防げるよう安全な運営意識を高めていく。 子どもの年齢に合わせておもちゃや環境を見直し、不要なものを減らしてスペースの確保をしていく。